

## 【能登半島地震で被災された HIV 陽性者のみなさまへ】

1月1日 16時10分頃、石川県能登地方にて地震が発生しました。  
被災をされた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

○被災された HIV 治療中の患者さんで、お困りのことがありましたら、通院先医療機関に連絡を取るよう努め、連絡がとれた場合は、指示に従ってください。

連絡が取れない場合は、北陸ブロック拠点病院である、石川県立中央病院に連絡してください。

連絡先：石川県立中央病院 076-237-8211(代表)

代表番号に繋がったら、相談内容に応じて以下のどちらかの相談先を伝えてください。

- ・免疫感染症科（治療に関すること）
- ・患者総合医療センター（医療費や保険証・自立支援医療に関すること）

○原則として、内服中の HIV 治療薬は中止すべきではありません。手持ちのお薬があれば、内服を継続してください。可能な限り、薬がなくなる前に、HIV 治療薬を手に入れられるよう、医療者に相談しましょう。

HIV 治療薬が足りなくなった場合、保険証や自立支援医療の書類が無くても、災害時は薬を受け取れる可能性があります。まずは医療者に相談してください。

○万が一、薬を手に入れられないときは、

2種類以上の HIV 治療薬を飲んでいる場合は、そのまま継続し、少なくとも1種類の薬がなくなった段階で、全ての HIV 治療薬を同時に中止してください。

日を空けて飲んだり、2種類以上の HIV 治療薬のうちの、1種類だけ飲んだりしてはいけません。中途半端な飲み方をすると薬剤耐性が出て、薬が効かなくなる可能性があります。

○避難生活をされている方へ

大きなストレスに加え、狭い避難所や車内で過ごされていると、肺血栓塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）が起こりやすくなります。以下のサイトに、対策等が記載されていますので、できる限り予防に努めましょう。

○能登半島地震：「エコノミークラス症候群」対策

・日本血栓止血学会「緊急提言」：被災地における肺血栓塞栓症の予防について

<http://kessencovid.jugem.jp/?eid=71>

・肺血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）とは

<http://kessencovid.jugem.jp/?eid=73>

・血栓症ガイドブック（日本血栓止血学会 HP より）

<http://www.jsth.org/wordpress/wp-content/uploads/2015/05/血栓症ガイドブック.pdf>